

始良市議会だより

あいあいがさ



12月
定例会
No.62

令和8年1月31日発行



p2 新年のご挨拶

p4 物価高騰対策

p6 「あいら」さん家の家計簿

p8 市民目線で15人が市政を質す

p12 議員定数

ダイヤモンド 御来光





新年のごあいさつ

議長 小山田 邦 弘

新春のお慶びを申し上げます。

昨年も市民の皆さまには市政に多くのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

特に、8月の線状降水帯による大雨では市内各所で甚大な被害が発生し、みなさまに大変なご不便とご苦労をおかけしました。その一方で、日頃から培われてきた「共助」の精神とその仕組みにより、地域において迅速なご支援をいただきましたことに深く感謝を申し上げます。議会としても災害からの復旧・復興に全力で取り組んで参ります。

この春、4月の改選で議員定数は2人減の22人となりますが、市勢のますますの発展と市民福祉の向上、さらには防災・減災の重要性を新たな構成の議会にも引き継いで参ります。

本年もよろしくお願いたします。

発議 発議第3号

議員定数条例の改正

24人の定数を次の選挙（令和8年4月告示）から22人に改める。

▼提案理由

人口・地理的特性・財政状況・議会活動の実態及び市民意見を踏まえ、情報通信技術（ICT）の進展により議員活動の効率性が一定程度確保されていること等を踏まえ提案する。



賛成16 反対4

発議

議員定数条例の改正

（24人を19人に改める）

24人の定数を次の次の選挙（令和12年4月告示予定）から19人に改める。

▼提案理由

人口・財政規模及び議会運営の効率性を踏まえ現行の議員定数を改める。



賛成3 反対17

発議

発議第5号

議会委員会条例の改正

議員定数22人に対して次の選挙（令和8年4月告示）から委員会構成人数を改める。



賛成19 反対1

- 総務常任委員会 8人 ↓ 8人
- 文教厚生常任委員会 8人 ↓ 7人
- 産業建設常任委員会 8人 ↓ 7人
- 予算審査常任委員会 24人 ↓ 22人

条例 多目的ホール等の設置や図書館管理の一部改正

令和8年5月に開庁する蒲生支所の庁舎内に様々な地域活動や交流の拠点として多くの市民が利用できるよう、多目的ホール・会議室・多目的室・調理室を設置することに伴い、開館時間や使用料等を定めるものです。

また、蒲生公民館にあった図書室を蒲生支所庁舎内に移転させることから、所要の改正を行うものです。



蒲生支所フロアマップ

条例 こども誰でも通園制度

令和8年度から「こども誰でも通園制度」として全国展開されることとなり、所要の条例を整備するものです。

▼主な質疑

問 17施設から「実施希望」の回答があったとのことだが、何か所の施設に実施意向調査をおこなったか。

答 今回の対象となる企業主導型や児童発達支援事業所を含む81施設で調査した。



条例 保育事業内容の一部改正

対象となる施設に配置義務となる「保育士」に加え「地域限定保育士」も新たに保育士とみなすことになります。

また、1歳6か月児健診や3歳児健診などの市が行う乳幼児健康診査を、保育所利用開始時の健康診断に替えることができますようになります。

その他の主な条例

- 蒲生町やまびこ住宅管理の廃止
- 林業活性化センターの設置および管理の廃止
- 火災予防の一部改正

請願 西始良校区コミュニティセンター建設

請願者 前田昇一
紹介議員 萩原哲郎

▼趣旨

始良ニュータウンは、発足から45年が経過し、現在では約1600戸、約3600人が暮らす大規模住宅地となっておりますが、住民が一堂に会する拠点が区内にありません。

そのため、住民が集い交流し、支え合う地域の中核施設として建設を求めるものです。

▼主な意見

●「公共施設等総合管理計画」や財政状況を踏まえると、現実的には困難である。

●建設は困難であるが、請願に込められた要望は意見として受け止めたい。

▼結果 趣旨採択

陳情 加治木町木田地区の防災・減災対策

陳情者 川崎羽香

▼趣旨

令和7年8月の豪雨災害で甚大な被害が発生したことから、木田川および湯之谷川の越水対策とパイプ周辺の排水能力向上を要望するものです。

▼主な意見

●短期的に実施可能な浚渫や河道掘削工事から取り組んでいくべきである。

●広域的な整備は、防災・減災に関連する各種計画に記載し、中長期的な対策を講ずるべきである。

▼結果 採択

一般会計補正予算審査報告

第6号補正 1億8,069万5千円

第7号補正 12億2,527万6千円

補正後の令和7年度予算の総額 **491億7,667万1千円**

第7号補正 国の総合経済対策として、12月16日に成立した国の補正予算に対応した物価高騰対策に係る主な経費

◎物価高騰対策プレミアム商品券事業 8億2,443万6千円

国の交付金を活用し、1,000円で10,000円分の商品券(プレミアム率900%)を販売する。(1人1冊まで)

問 重点支援地方交付金・推奨事業のメニューからプレミアム商品券を選択した理由を示せ。

答 交付金のうち食料品の物価高騰に対する特別加算金約3億円が含まれていること。また、家計を支援するとともに、市内消費を喚起し、地域経済の活性化を図ることを目的としている。

問 購入対象者を世帯ではなく個人にした理由を示せ。

答 単身世帯と複数世帯の間で生じる不公平の是正のためである。

◎物価高対応子育て応援手当事業 2億9,404万9千円 など

0歳から高校生年代までの子どもを対象に1人当たり2万円を支給する。

第6号補正 8月8日未明からの豪雨に伴う災害義援金の支給及び災害復旧に要する経費のほか、今後の扶助費等の執行見込みによる主な経費

◎児童手当等給付事業 6,186万5千円

◎災害対策一般管理費 1,221万円

◎市義援金支給事業 872万5千円

◎子ども医療費助成事業 4,311万3千円

◎始良市地域介護・福祉空間整備等事業 1,546万円 など

議員問討議

- 今回の補正予算は、概ね妥当な根拠に基づいており、災害復旧への対応もしっかりとされていると評価できる。今後は査定を再度厳格に行い、適切な形で早急に事業を実施していく姿勢が必要である。
- 白銀坂の復旧にあたっては、文化庁と協議の上、周辺用地の取得や排水対策を含めた復旧を行い、災害に強い整備を目指すべきだ。
- 農業用機械等の被害への補助要件が50万円以上と厳しく、高齢農家の離農や耕作放棄地の増加につながる懸念がある。既存制度で救えない被害実態について把握し、市独自の支援策を拡充することで農業継続を支える必要がある。

12月定例会ではこんなことが決まりました!



賛否一覧表

(○…賛成 ×…反対 △…棄権 一…欠席 ※議長 小山田邦弘は表決に参加しない。)

議案名	宇都陽一郎	湯元秀誠	塩入英明	益森隆史	馬場修二	国生卓	森川和美	桃木野幸一	和田里志	小田原優	峯下洋	岩下陽太郎	松元卓也	萩原哲郎	新福愛子	竹下日出志	大坪祐輔	上村親	有川洋美	堀広子	谷口義文	賛成	反対
始良市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○	18	2
始良市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	19	1
始良市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	○	16	4
始良市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の件	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	○	14	6
令和7年度始良市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	19	1
始良市議会議員定数条例の一部を改正する条例の件	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	×	○	×	○	16	4
始良市議会議員定数条例の一部を改正する条例(本則中「24人」を「19人」に改めるもの)	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-	×	×	×	×	○	×	×	×	3	17
始良市議会委員会条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	19	1
「西始良校区コミュニティセンター」建設に関する請願書 <small>注) 趣旨採択に対する表決</small>	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	19	1
令和6年度始良市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	19	1
令和6年度始良市国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	19	1
令和6年度始良市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	17	3
令和6年度始良市介護保険特別会計保険事業勘定歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	18	2

以下の議案については、全会一致で可決

始良市蒲生支所多目的ホール等の設置及び管理に関する条例制定の件
始良市火災予防条例の一部を改正する条例の件
始良市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の件
始良市議会議員及び始良市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の件
蒲生町やまびこ住宅管理条例を廃止する条例の件
始良市林業活性化センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の件
財産の無償譲渡及び無償貸付けに関する件
令和7年度始良市一般会計補正予算(第6号)
始良市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の件
始良市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の件
加治木町木田地区における豪雨災害時の防災及び減災対策に関する陳情書
令和6年度始良市国民健康保険特別会計施設勘定歳入歳出決算認定について
令和6年度始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定歳入歳出決算認定について
令和6年度始良市農林業労働者災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について
令和6年度始良市水道事業会計決算認定について
令和6年度始良市下水道事業会計決算認定について

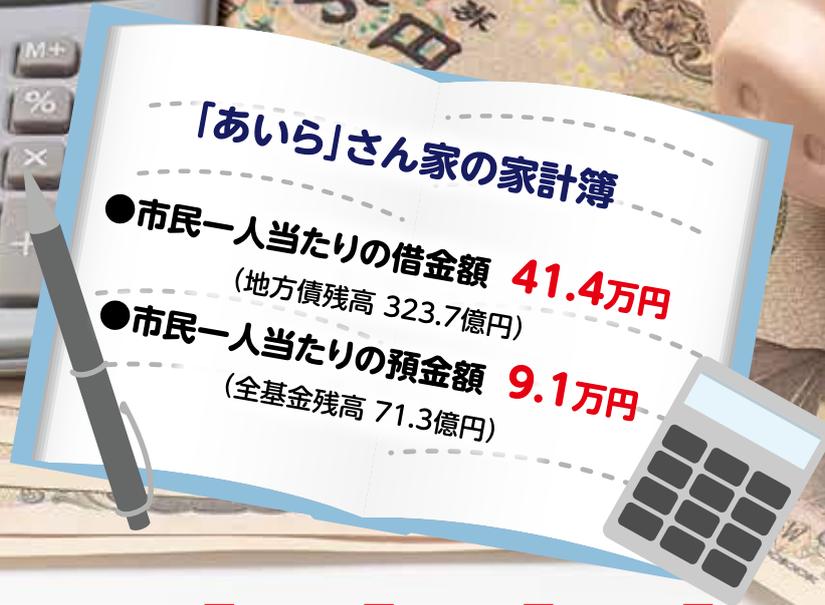
561億円の使い道



チェック

一般会計歳出額 **381** 億円

特別会計歳出総額 **180** 億円



納められた税金がどのように使われたか、決算審査特別委員会を設置し、総務・文教厚生・産業建設の所管ごとに、次の5つの着眼点を念頭に置き審査を行いました。

審査の着眼点

▼歳入の確保

収入確保の努力が十分に行われたか

▼適正執行

予算が計画どおり正しく使用されたか

▼費用対効果

投資に見合う成果が得られたか

▼効率化とコスト削減

無駄を排除し、効率的に予算が使用されたか

▼説明責任と透明性

住民へのわかりやすい説明が行われ、信頼が保たれたか

決算審査総括

すべての決算認定議案は認定されました



決算審査特別委員長
和田里志

令和6年度の決算額は、複合新庁舎建設や子育て支援拠点施設「子ども館ちるどん」整備事業、社会資本整備総合交付金事業等の減額により、歳入・歳出ともに前年度と比べてわずかに減少しました。

また、歳入の柱である市税も前年度と比べて減収となり、経常収支比率が増加するなど、依然として財政基盤が堅固であるとはいえず、厳しい行財政運営をしなければならぬ状況にあります。

それぞれの決算認定議案は、全て認定しましたが、審査の過程で各委員から出された多くの意見・要望等を斟酌し、効率的な予算編成・執行に臨むよう強く要請しました。

総務班

▼評価する点

- 新庁舎開庁に伴い組織再編も行われ、部局間の横連携が向上している。
- ZEB仕様の新庁舎により、光熱費が大幅に削減された。
- 財政調整基金は順調に積み立てられ、今回の水害でも即座に対応できた。
- 本庁舎工事は周辺の被害に配慮しつつ完了し、事後調査や補償も実施できている。
- 公式LINE・広報紙はともに安定運用がなされている。
- 将来の検証に資する新型コロナウイルス感染症対応記録を作成した。
- 男女共同参画室を企画政策課へ再編したことで、より実効性のある取組が可能となった。
- 消防団員の充足率は県・全国平均を上回り、操法大会などでも士気も高い。
- 18歳、19歳の投票率が県内19市の中で上位であることが確認できた。

▼指摘事項

- 交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、市民や関係団体、庁内及び他自治体との連携を強化し、協働による取組を推進すること。
- ホームページの全面リニューアル計画を立て、著作権問題を整理の上で、柔軟な発想を持ち、情報収集・発信に優れた若手職員の力を活用すること。
- ペット同行避難の実証実験から本格運用を目指し、拠点と手順を明確にし、使える形に整備すること。
- 消防団詰所のトイレ未整備箇所を年次計画で整備すること。

文教厚生班

▼評価する点

- 子ども館は登録者数や利用者数が多く、十分な成果を上げている。また、周辺のかもだ通りも活気が生まれ、新規出店が見られるなど、関連する効果が表れている。
- 離乳食提供ガイドラインを年度内に策定したことにより、子育て支援が底上げされ、各保育園が連携して子どもの安全を見守る体制につながった。
- 加治木図書館は、木材を多用した温かみのあるしつらえや、日差しを和らげる長いひさしの採用により、明るくもまぶしさを抑えた空間となっている。また、じゅうたんの色分けなど、子どもから高齢者まで配慮の行き届いた設計である。

▼指摘事項

- 過年度の生活保護返還金が約6500万円と多額であり、看過できない問題である。事前調査の徹底と引き続き回収に向けた取組をすること。
- 加治木地区の資源物集荷所については、「現行の場所が不便」との意見があることから、新たな集荷所の増設など、利便性向上のための改善を行うこと。



産業建設班

▼評価する点

- 排水路整備事業において、工法を工夫することで事業費の縮減を図り、浸水・冠水被害の軽減に取り組みんでいる点を確認できた。
- 狭あい道路整備促進事業による増田・老神線道路改良工事では、道路幅が拡幅され、緊急車両の通行が可能となるなど、生活環境の改善と利便性向上に寄与した。
- 鳥獣被害対策として地区全体で設置した4段電気柵は、設置後、被害が確認されず一定の効果が認められた。
- 東蔵王住宅の設備整備が進んだ点は評価する。入居促進に向けた今後のプロジェクトチームの取組に期待する。

▼指摘事項

- 市営住宅使用料について、高額滞納に至る前に原因を把握し、早期徴収に努めるべきである。また、県が導入している督促専門員制度のような仕組みの導入についても検討すること。
- 緊急浚渫推進事業債の特例措置の期間が令和11年度まで延長され、今後も浚渫工事が計画されているとのことであるが、減災・防災対策として、早急な事業の推進に努めること。



一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。

ただ 市民目線で15人が市政を質す



QRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継をご覧ください。



あいあいがさ
岩下陽太郎



令和7年度主要施策の進捗と今後の方針

問 「スポーツでにぎわうまち」実現のための課題を示せ。

答 課題は体育施設の老朽化に対する計画的な整備・改修やスポーツ合宿誘致に向けた環境整備である。

スポーツ合宿誘致は、現有施設の有効活用と民間宿泊施設の対応調査を進めており、まずは対応可能な人数や競技種目を精査しながら検討する。

竜門児童クラブの現状と今後

問 8月の大雨で被災し、現在間借りしている竜門小百周年記念館を次年度以降も継続して借用できない場合はどうするの。

答 今後継続して借用できない場合、業務委託先である竜門児童クラブ運営委員会と連携し、校区内において運営を継続できるように検討していきたい。



被災直後の竜門児童クラブ外観



市政クラブ始輝
和田 里志



市政2期目の総括と今後の対応

問 市政2期目の総括と今後の対応について問う。

答 「すべてを始良市のために始良市民のために」をモットーに、未来に明るい希望が持てるまちに向かって、市政運営を一歩ずつ確実に進めてきた。市が持つ大きな可能性を伸ばし続け「成熟したまちへの成長」を目指すという目標は、変わりなく持ち続けており、その実現に向けて初志貫徹、道半ばの政策の実現と、様々な課題に立ち向かうためにも、引き続き市政運営の先頭に立ち本市の発展に尽くしていく所存である。

重富小学校整備

問 重富小学校整備の方向性について問う。

答 小中学校、幼稚園に関するものは、「始良市立学校等在り方検討委員会」を設置して、重富小学校児童の需要予測、校舎の建替えの基本的な考え方等について検討していく。



敷地の半分以上が土砂災害警戒区域に指定されている



志成会
国生 卓



災害復旧対応の課題

問 今回の災害を通じて、インフラの災害復旧事業に係る市の課題について、今後どのように取り組んでいくのか。

答 今回、土砂災害や橋梁の流失・道路崩壊・水路取水施設の損壊、教育施設への土砂流入及び浸水被害、さらに断水被害など複数の被害が発生し、市民生活に甚大な影響を与えた。

今後は、これまで進めてきた防災・減災対策や河川の浚渫などに加え断水への備えも含め、国・県の事業等を活用しながら、事前及び事後対策について検討していく。

問 災害ボランティア受け入れのために、どのような体制を図っているか。

答 市社会福祉協議会が実施するボランティア事業の活動において毎年、災害ボランティアセンターの設置を想定した訓練や講座を実施している。

また災害ボランティア活動に関する応援協定の締結など、同協議会において体制を整え、円滑なセンター運営ができるように平時から備えられている。

その他の質問

○農業施策



志成会
萩原 哲郎



豊富地区循環バス

問 警察学校入口から原方南方面のバス路線は、豊富小学校の通学道路になっている。池島方面に向かう進路変更やバス停の設置等について、協議内容を問う。

答 令和8年4月1日からの運用開始に向けて、始良市地域公共交通会議に承認を受けるための準備を進めている。路線変更等の内容は、始良ニユータウン車庫を出発後、警察学校入口交差点をそのまま直進し、イケダパン前の交差点を左折し、ファミリーマート豊富店前の交差点を左折して、池島方面に向かう路線に変更する。またバス停は、Aコープ豊富店近くとファミリーマート豊富店近くに新設し、原方南バス停は新しいルート上に移設する。



Aコープ豊富店に新設されるバス停周辺

問 豊富駅待機時間変更を問う。
答 第2便のみ現在の2分から30分に延長する。

その他の質問

○サボランドパーク始良のじゃぶじゃぶ池と公園の維持管理
○龍門滝温泉の今後の用途



あいち敬愛会
馬場 修二



防災・減災

問 今回の災害において自治会の共助は発揮できたか。

答 校区コミュニティ協議会や自治会において、応急的な復旧作業が行われたことを確認しており、自主防災組織としての機能が発揮されたと考えている。

問 河川氾濫による防災マップの見直しは必要ないか。

答 6月に県管理河川の洪水浸水想定区域が公表されており、今後、公表予定の高潮浸水想定区域のデータを基に、新たな総合防災ハザードマップを作成し公表する予定である。

コミュニティ・スクール導入に向けて

問 本市の目指すべき目標を示せ。

答 次の3つを目標とする。
1 学校運営協議会が地域全体で子どもたちの育成の場となること
2 地域住民が、学校運営に意見を反映できる仕組みを構築すること
3 地域の知恵・経験・人材などを学校教育に生かし地域全体の活性化を図ること



市民くらぶが
塩入 英明



防災・減災まちづくり

問 個別避難計画の作成について進捗状況を示せ。

答 「始良市要配慮者避難支援等プラン」における個別避難計画の作成件数は、令和7年11月18日現在で85件となっている。

今後、法令等の改正があった場合は、法令に基づき改訂を行い、避難行動要支援者をはじめとする要配慮者の避難支援等の確立に努めていく。

問 文化財防災の現状と課題を示せ。

答 始良市地域防災計画において、「災害による被害軽減を図るために所有者と教育委員会が協力して事前措置に努めるもの」とされており、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて文化財の防災に関する周知を行っている。また、地域社会総がかりで文化財の継承に取り組む必要があることから、現在、策定に向けて調査・研究中の始良市文化財保存活用地域計画において、文化財防災の在り方についても盛り込む形で協議・検討していく。



公明党始良市議員
竹下日出志



オーガニックビレッジ宣言のまちづくり

問 学校給食の食材における有機農産物の推進は。

答 地産地消コーデイナーターからの指導・助言を基に、学校給食での地場農産物の利用拡大や安定供給の定着などを進めている。また、有機野菜をはじめ市内産食材を対象とした食育の推進に努めていく。



有機野菜の生産者を招いての交流給食

熱中症対策

問 夏の屋外業務で、空調服（ファン付きベスト）を導入する考えはないか。

答 屋外で作業する一部職員には、昨年度から空調服を支給している。今後、全庁的な取組は、必要に応じて検討していく。

その他の質問

○ごみの分別方法の変更



志成会
森川 和美



職員の福利厚生

問 職員の福利厚生事業として健康診断を実施しているが、職員健康診断結果にどのような特徴があるか。

答 職員の健康診断は、例年約500人が受診している。

また、全職員を対象としたストレスに関するアンケート調査や職業性ストレス簡易調査を実施し、職員のメンタル不全を未然に防ぐ取組を行っている。

問 市長2期目の4年間で、中途早期退職者は何人か。

答 令和4年度10人、令和5年度18人、令和6年度17人、令和7年度は12月1日時点で1人である。

教育行政

問 国は令和8年4月より小学校の給食無償化の方針を示している。市内中学校の給食無償化の決断を。

答 現時点において市独自での中学生の給食無償化実施の考えはないが、引き続き、国の動向を注視していく。

その他の質問

○豊留地区への大型ホームセンター出店計画



公明党始良市議員
新福 愛子



子育てしやすいまちへの成長に向けて

問 災害発生時の保育所休園指示は原則、市町村行政となるが8月の豪雨災害時の対応はどのようなものであったか。

答 発災直後に各施設へ受け入れ状況の確認を行い、翌日以降は断水のため臨時休園を検討するよう依頼した。

迅速かつ適切な臨時休園の判断が必要とされるため、「認可保育施設の災害時における臨時休園ガイドライン」の作成を進めている。

消防・救急体制の充実と強化に向けて

問 女性消防団員の入団促進や活動を続けやすい環境づくりのために、産休育休制度の導入を検討できないか。

答 現在のところ休園制度を活用しているが、産休育休制度の導入については国の動向等を注視して調査・研究していく。



多様な力で地域を守る女性消防団



市民クラブ
上村 親



激甚災害の公布を受けて

問 今回の豪雨災害で家屋、河川等甚大な被害が発生しているが、改良復旧事業に充当できないか。

また、指定を受け、豪雨災害が起きた河川等を改良・改修は考えないか。

答 改良復旧事業は、再度災害防止の観点から災害を受けていない区間も含め、一連の区間について川幅を広げたり、堤防のかさ上げなど施設機能の強化等を図る事業である。被災前と同じ機能に戻す原型復旧では、事業効果が限定される場合に実施できる。

市が管理する河川では、改良復旧事業を適用する考えはないが、甚大な橋梁災害を受けた錦江橋に適用を検討している。



豪雨で被災した現場

健康寿命の延伸

問 グラウンドゴルフ場整備計画は。

答 令和8年度に熱中症予防対策として、多目的グラウンドに新たな東屋の増設と、ミスト機の設置を検討している。



市政クラブ始良
宇都陽 一郎



人口減少から考察するまちづくり

問 交通の利便性もよく住みやすいまちへ向けた本市内の地域交通を問う。

答 北山校区予約型乗合タクシーでは、利用者の要望を受け、運行時間の変更を行った。

同様に、重富地区循環バスでも、路線変更と運行時間の変更を行う予定である。

問 地元の商店が連携して活性化するまちづくりを問う。

答 令和7年度から、住民生活の利便性の向上や、地域のにぎわいの創出を図るため、空き店舗等を賃借して事業を開始する方への補助金制度を拡充した。



屋台村風チャレンジショップ



市民くらし部
峯下 洋



市民の生活課題への対応は

問 本市の産後ケア事業の利用状況、課題をどのように把握しているか。

答 今後、支援内容を充実させる考えは。

問 令和7年度から利用日数5日までの産後ケアにかかる自己負担額を無償にしている。宿泊型・デイサービス型・訪問型を合わせた産後ケアの利用実績は、11月時点で342人となっている。

答 今後は、委託施設数の拡大を図り、利用希望者が施設の情報を得やすいようにホームページに掲載予定で、令和8年度からは利用者へアンケートを実施し、支援内容の充実を図っていく。

家族介護の課題は。

問 令和7年度から「始良市在宅介護者介護慰労金支給要綱」に基づき、慰労金の支給を行っている。

答 今後も本人だけでなく、その生活を支える家族にも寄り添った包括的支援を行っていく。

その他の質問

○地域コミュニティの課題



有川 洋美



狩川の治水対策は

問 治水対策（狩川を含む）を問う。

答 狩川では県の災害関連緊急砂防事業により砂防堰堤を設置する。治水対策としては河川点検や調査、改良工事を行う。



狩川の氾濫

問 8月8日豪雨災害時の災害ごみ自己搬入について問う。

答 便乗ごみ防止のため仮置き場集約と自己搬入を基本とし、困難者は災害ボランティアセンターと連携し支援している。

問 民間アパート等に避難されている被災者への支援を問う。

答 賃貸型応急住宅の供与対象は、半壊以上で住まいの確保が困難な世帯であり、現在、内閣府と協議している。

その他の質問

○学校給食費無償化



堀 広子



ごみ出し支援制度

問 ごみ出し支援モデル事業を行っているが、支援体制・支援の範囲・安否確認・今後の課題について問う。

答 シルバー人材センターに委託し、自宅玄関前に置かれた蓋付きバケツ等から、燃えるごみ週1回、資源物・不燃ごみ月1回収集する。

対象は、要介護認定者、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A1・A2、精神障害者保健福祉手帳1級に該当する方のみで構成される世帯となる。

また、2回連続でごみが出されなかった場合、緊急連絡先に安否確認を行う。今後、課題を精査し、関係機関と連携して対象者の把握や基準を明確化し、制度の充実に取り組んでいく。

問 介護認定がなくても、ごみ出しが困難と認めたら支援の対象とする柔軟な考えはないか。

答 丁寧な話を伺い、現地調査・認定審査会などを行い、柔軟な対応を行う。

その他の質問

- 補聴器購入費助成
- パートナーシップ宣言制度
- 子ども医療費高校卒業まで

おことわり

第4回定例会で一般質問をされました、小田原優議員につきましては、本人からの申し出により掲載しておりません。

議会改革推進会議

議員定数を22人へ

前号の「あいあいがさ」で紹介したとおり、これまでの『議会と語る会』で寄せられた市民の皆さまの意見を踏まえたうえで、議員定数を24人から22人とする条例改正案を12月議会において発議し、賛成多数で可決されました。この改正は、次の選挙(令和8年4月告示)から適用され、議員定数は22人となります。

議員報酬については、適正な報酬の審議を市長の権限により設置される『特別職報酬等審議会』において、第三者の立場から審議されることが望ましいと判断し、議会として市長に対し、諮問を検討していただくよう要請することとしました。



これまでの詳細については右記のQRコードから閲覧できます。



議会と語る会(始良)



議会と語る会(加治木)



議会と語る会(蒲生)

傍聴席へどうぞ

令和8年第1回定例会は、
2月17日(火)から開会します。

- 場所/始良庁舎2号館 3階議事堂
- 車いす席もあります。

議会日程や議会中継は、市ホームページでご覧いただけます。
※2号館エレベーターをご利用ください。

お詫びと訂正

令和7年11月30日発行の「始良市議会だよりNo.61」において、次のとおり誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

- P6(中段) 請願の件名
【誤】急傾斜地崩壊対策事業の推進を求める請願者
- 【正】急傾斜地崩壊対策事業の推進を求める請願書



▼表紙の写真
重富愛宕神社は標高55メートルの高台にあり、境内から素晴らしい御来光が見られるため正月元旦にはたくさん家族連れなどが訪れます。

編集後記

今議会では紆余曲折を経て、議員定数を現行24人から22人へ削減する条例改正が可決され、4月の市議選から適用されます。これは「議会と語る会」等を通して幅広い年齢層の市民の皆さまの声から導き出された結論です。

今号が本委員会として最後の議会だよりになりますが、「あいあいがさ」の名の通り、寄り添ってくださった市民の皆さまに編集委員一同、心より厚く御礼申し上げます。

本年が丙午の干支にあやかり、勢いと希望に満ちた一年となることを願っています。

新福 愛子

編集・発行責任者	議長	副委員長	委員
新福 愛子	小山田 邦弘	馬場 修輔	大坪 祐二
		岩下 陽太郎	宇都宮 陽太郎
		新田 英一	竹下 愛子
		益田 隆志	益田 隆志